

事務事業名	コード1	3100	企画事務費	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	企画政策課				
	コード2		あさぴー関連		<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	政策推進班				
施策体系	施策	17	交流の促進	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	0479-62-5382	内線	217		
	施策の展開	31	交流事業の促進		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計 一般会計				
				事業種別	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	款	2	項	1	目	7
					<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン	根拠法令	特になし				
				事業種別	<input type="checkbox"/> 主要事業						
					<input type="checkbox"/> 簡易評価						

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	旭市イメージアップキャラクター「あさぴー」を市民に愛されるキャラクターとして育てながら、市政情報の発信や市の魅力のPRツールとして活用する。このことにより市のイメージを向上させ、本市の認知度を上げるとともに更なる観光客の増加を図る。 具体的な事業内容 ・市外のイベントにキャラクターが参加し、市の魅力をPRする(PR用品配布、特産品・イベントのパンフレット配布等)。 ・ホームページ(あさぴーアール部)で市の特産品、観光施設、イベント等をキャラクターが紹介する。 ・民間にキャラクターデザインを無償で提供し、商品のパッケージや商品開発等に、キャラクターデザインを活用してもらうよう推進する。 ・市民に愛されるキャラクターとして育てるため、各課で作成するパンフレット等に、キャラクターデザインを活用してもらうよう推進する。 【業務の流れ】 イベントの情報収集→スケジュール調整→PR用品の準備→イベント参加→あさぴーアール部(HP)で活動記録を掲載

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
1.需用費	1,371	PR用品、着ぐるみメンテナンス等	-	287	1,371	595
2.委託料	833	デザイン作成、ぬいぐるみ製作、着ぐるみ製作等	-	294	833	384
3.旅費	189	市外イベント旅費	-	156	189	243
4.役員費	36	着ぐるみクリーニング代等	-	16	36	69
5.その他	57	出店ブース負担金、通行料及び駐車料等	-	10	57	110
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)	0	763	2,486	1,401
1.国庫支出金	0	1. 国庫支出金	0			
2.都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金				
3.地方債	0	3. 地方債				
4.その他	0	4. その他				
前年度比増減理由:着ぐるみ、PR用品を製作したため		5. 一般財源	0	763	2,486	1,401
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人員費	0.00	0.47	0.53	0.56
イベント準備 60(イベント数)×2(従事人数)×2(時間)=240時間		延べ業務時間	0	946	1,068	1,128
イベント従事 {60(イベント数)-14(貸出イベント数)}×2(従事人数)×8(時間)=736時間		人件費計(B)	0	3,595	4,058	4,286
ホームページ掲載記事の作成 46(掲載記事数)×2(作業時間)=92時間		トータルコスト(A)+(B)	0	4,358	6,544	5,687

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・市内外のイベントへの参加 ・ホームページ掲載記事の作成 ・クリアファイル、缶バッジ、あさぴー住民票、撮っておきスポット作成 27年度計画(27年度に計画している主な活動) ・市内外のイベントへの参加 ・ホームページ掲載記事の作成 ・缶バッジ作成	ア 市内イベントへの参加回数 イ 市外イベントへの参加回数 ウ ホームページへの掲載記事数	回	-	33	40	40
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	市外 市内	ア 関東地方人口(4月1日) イ 市内人口(4月1日)	人	42,644,281	42,649,241	42,750,304	42,882,491
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	あさぴーを通して旭市のことを知ってもらう 旭市の魅力を知り市外の方に広める	ア あさぴーアール部(HP)アクセス数 イ デザイン使用承認件数	回	-	7,577	11,692	15,000
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	市民、市外の方が旭市のことを理解する・知る、行政が市民の声を事業に反映させる	ア 旭市ホームページアクセス数	回	695,694	810,130	865,305	900,000

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
旭市の様々な魅力や特性を市の内外に効果的及び積極的に発信し、本市の更なるイメージアップを図るため、各種イベント、キャンペーン等で活用するイメージアップキャラクターのデザイン及び名称を公募により決定し、PR活動を開始した。	市町村等のキャラクターが参加する「ゆるキャラ@グランプリ」のエントリー数(H22:169体→H26:1,699体)は、年々増加しており、また「ゆるキャラ@グランプリ」の投票数(H22:約24万票→H26:約2,300万票)も増加しているなど、キャラクターの注目度は増加傾向にある。	他市や各種団体が主催するイベントに参加した際、来場者等から「キャラクターが可愛い」「また遊びに来てほしい」「旭に行ってみよう」等の声が寄せられている。

事務事業名	企画事務費 あさぴー関連	課名	企画政策課	班名	政策推進班
-------	-----------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？	本事業は総合計画の基本方針「共につくる夢のあるまちづくり」に位置づけられており、市外に向けて市の魅力をPRし、市のイメージを向上させ、本市への更なる集客を図るといふ本事業の目的は、市の施策体系に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	市の魅力を全国にPRする事業であり、また、そのためには市民が市の魅力を知って市外の方に広めることが重要であり、対象・意図ともに適切である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	市のイメージアップキャラクターであるため、公平に管理・運用する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	認知度が高い成田市のキャラクター「うなりくん」(H26「ゆるキャラ@グランプリ」19位)の年間イベント参加回数(H26)は120回以上である一方で、あさぴー(H26「ゆるキャラ@グランプリ」977位)の年間イベント参加回数は60回であり、イベント参加回数が少ないため、認知度が低いと考えられる。
	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	キャラクターへの注目度が増加していることを考慮すると、市外イベントへの参加回数を増やすことで、キャラクターの認知度の向上が期待できる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(市主催するイベント事業、市内公的団体主催イベント事業) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	市主催イベントであさぴーの着ぐるみを活用したPRは既に行っているが、市内公的団体主催イベントでも貸出を行うことで、更なるPRに繋げることができる。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	市外イベントへの参加回数を増やすことを考えると、PR用品等の経費の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	恒常的にイベントがあるわけではないため、担当職員は専任ではなくその他の業務と兼務している。また、認知度を上げるためにはイベントへの参加回数を増やすことが必要であり、業務時間の削減は難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	市の魅力を全国にPRする事業であるため、特定の個人・団体の利益になる活動は行っていない。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成26年度にPRグッズを作成したり、着ぐるみを作成し、また市内外イベント参加回数を増やすことで、認知度は向上してきている。今後も市外イベントへの参加回数を増やしたり、市内公的団体主催イベントでの着ぐるみの貸出等を行うことで、キャラクターの認知度を向上させることが期待できる。
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：市主催イベント事業、市内公的団体主催イベント事業) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
いつまでに	いつまでに																						
平成27年度中	① 関東近郊の市外イベントの参加回数を増やす。 ② 市内公的団体主催イベントでの着ぐるみの貸出																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
課題：より効果的なPRを行うため、イベントと一体となったPR方法を検討することが必要。 解決策：市イベント主催課の使用状況を踏まえ、有効に市のPRを行える課へ本事業の移管を検討する。																							